

例会報告：2016年5月31日（晴れ） 第1936回 通常例会

◆ 会員誕生日

上田 博和さん（6月5日）

◆ 結婚記念日

鈴木 竜哉さん（6月1日）  
一寸木 芳行さん（6月1日）

◆ 奥様誕生日

河野 美栄子様（6月1日）  
一寸木 広美様（6月1日）

◆ ニコニコ箱

櫻井 康二 委員長

	ニコニコ箱	累計	目標
5月31日分	30,434	990,324	1,300,000

\* ビジター

千村 憲一様（足柄RC）…お世話になります。

\* 会員誕生日

大木 清さん…誕生日のお祝いいただきありがとうございます。

\* 結婚記念日

鈴木 竜哉さん…結婚記念のお祝いありがとうございます。  
一寸木 芳行さん…結婚記念のお祝いありがとうございます。明日で丁度20年になります。あつという間ですね。

\* 奥様誕生日

河野 秀雄さん…家内の誕生日祝い皆様ありがとうございます。いつも元気なでいてくれる事を祈るばかりです。  
一寸木 芳行さん…妻の誕生日祝いありがとうございます。河野さんいつも素敵なお花ありがとうございます。

\* その他

清 康夫さん…会社内の土地30坪で野菜を育てています。今年は15種類の野菜が順調に育っており、近々食卓にて食べることが出来ます。久し振りにニコニコへ。

河野 秀雄さん…NPO法人アール・ド・ヴィーブル理事長萩原美由紀様、本日はありがとうございます。各方面で御活躍ですね。ご自愛下さいませ。

大木 宏さん…本日の卓話の萩原さん、いつもお世話になります。今日はよろしく願いいたします。

大川 久弥さん…先日の飲み会の残金を少々

一寸木 芳行さん…長期のお休みを頂きましてすみませんでした。今週からまたよろしく願います。

■ ■ 今後のメークアップ情報 ■ ■

-2016年6月-

▶8日(水) 小田原北

▶9日(木) 小田原中

▶10日(金) 湯河原 ニューウェルシティ湯河原 12:30  
「会員による卓話」

▶10日(金) 足柄 おんりーゆ〜 12:30  
「クラブ協議会/2015-16年度事業報告①」

▶13日(月) 小田原

▶14日(火) 箱根

▶15日(水) 小田原北

▶16日(木) 小田原中

▶17日(金) 湯河原 ニューウェルシティ湯河原 12:30  
「会員による卓話（新会員）」

▶17日(金) 足柄 おんりーゆ〜 12:30  
「クラブ協議会/2015-16年度事業報告②」

▶20日(月) 小田原

▶21日(火) 箱根

▶22日(水) 小田原北

▶23日(木) 小田原中

▶24日(金) 湯河原 ニューウェルシティ湯河原 12:30  
「クラブ協議会⑧/会長・副会長・幹事」

▶24日(金) 足柄 おんりーゆ〜 12:30  
「卓話及び事務引き継ぎ/担当：クラブ管理/  
卓話者：間宮大井町長」

▶27日(月) 小田原

▶28日(火) 箱根

【小田原城北ロータリー・クラブ】  
 事務局：〒250-0211 小田原市鬼柳172-9  
 電話：0465-37-1222 FAX：0465-37-7377  
 URL：http://www.odawarajhrc.jp  
 Mail：info@odawarajhrc.jp  
 例会場：小田原卸センター内会議室  
 創立：1976年4月2日 承認：1976年5月8日  
 例会：毎週火曜日 12:30～13:30  
 クラブ会報委員会  
 監修：柳井 渉  
 編集長：小林 和彦  
 コピーライター：小林 和彦  
 デザイン：小林 和彦  
 フィールド：大川 久弥

会員数：39名



**RAC**  
会員募集中

相応しい会員をご紹介ください！



国際ロータリー第2780地区

# 小田原城北ロータリー・クラブ

R.I. DISTRICT No.2780  
ODAWARA JOHOKU R.C.  
2015-2016  
WEEKLY BULLETIN



世界へのプレゼントになろう

Be a gift to the world

【R.I. 会長】  
K. R. ラビンドラン  
【R.I. 2780地区ガバナー】  
田中 賢三  
【第9グループガバナー補佐】  
石崎 孝



【会長】木村 頼弘  
【副会長】久保田 知子  
【幹事】柳井 渉  
【副幹事】須藤 公司  
【会場監督】西 寛

世界へのプレゼントになろう  
Be a gift to the world

本日の例会：通常例会（第1937回）

会場：小田原卸センター内会議室  
日時：2016年6月7日 12：30～13：30  
司会：須藤 公司 副幹事

12：30	開会点鐘：木村 頼弘 会長 国歌斉唱 ロータリーソング斉唱 「奉仕の理想」 スピーカーおよびビジターの紹介 慶事祝福 会長挨拶 幹事報告／出席報告／委員会報告 同好会報告／ニコニコ箱
13：00	担当：大谷会員 卓話：中谷彰吾税理士事務所 所長 中谷 彰吾様 「節税対策」
13：30	閉会点鐘：木村 頼弘 会長

楽しさと感動を呼ぶ一年にしよう

【今後の例会・卓話スケジュール】

- 6月14日（火）通常例会 12:30**  
卓話：日本ボーイスカウト 小田原地区協議会  
会長 松蔭 弘一様  
「ボーイスカウトについて」
- 6月21日（火）通常例会 12:30**  
卓話：公益社団法人 小田原青年会議所  
理事長 杉崎 尚人様
- 6月28日（火）通常例会 12:30**  
クラブ協議会

■地区活動目標の概要

1.奉仕活動	ポリオ撲滅最優先 R財団地区補助金事業推進
2.公共イメージ	IM クラブ周年記念事業 ロータリーデーなどイメージ向上の機会を創る
3.寄付	財団：一人当たり 200ドル以上 米山奨学：一人当たり 20,000円以上 ポリオ撲滅：一人当たり 40ドル以上 ベネファクター：1クラブ 1名以上 ロータリーカードの普及
4.会員増強	10パーセント 衛生クラブを立ち上げる。
5.中核的価値観	ロータリーを学び、また学ぶ機会として、例会・IM・地区委員会・地区セミナー・地区大会・国際大会の出席率を高める。
6.オンラインツール	My Rotary ロータリークラブセントラルにクラブ情報入力
7.特別月間	戦略計画とR財団6つの重点分野を学び実践する機会として理解する。

# 例会報告：2016年5月31日（晴れ） 第1936回 通常例会

会場：小田原卸センター内会議室  
日時：2016年5月31日 12：30～13：30

## ◆ 会長挨拶

「規定審議会」



木村 頼弘 会長

今日は今年の4月に行われた規定審議会についてお話しします。この規定審議会は3年に1度、今回はアメリカのシカゴで開催され、今年は181の議案が審議され、その結果新たに62の案件が採択されました。その採択された案件の中で今1番話題になっているのが、クラブ例会の回数です。毎週あるいは毎月4回行われている例会を月最低2回、開催すれば良いと変更された

項目です。これは国際Rの理事会から提案された議案ですが、どのような経緯で、何を目的として出されたのか、その詳細は示されていませんでした。しかし、どう見ても会員増強を目的としているのは明らかです。世界から見れば、確かにロータリーの会員が減少しています。RCが生き残る手段の1つとして、国際Rが考えた会員増強の戦略かも知れませんが、私はここ数年、規約や細則が次々と変更され会員を増やすためなら、「何でもあり」そんな気がしてなりません。RCにとって例会とは要（かなめ）の部分です。そこをあっさり半分でいいと、正直随分思いついた事をするもんだと驚きました。クラブに柔軟性を与えるという意味で、この案件が採択された訳ですが、「変えて良い物と」「変えてはいけない物」何か履き違えている様な気がします。組織は残っても、本質が失われたら、何のための改革が分かりません。この改正案を取り入れて、その結果、例え会員が増えても、その代償は大きいと思います。所詮、ロータリーの発祥の地はアメリカです。外国人の考えが世界中の国々、ましてや日本にこの考え方が定着するかは分かりませんが、もし定着するような事が起これば、日本のRCも威厳も格式もない単なる奉仕団体になってしまうような気がします。日本では1920年東京RCが出来、すでに90以上年の歴史がある訳です。日本のRC独自の伝統を守るという事も、忘れてはならない大切な事だと思います。困った時に、何を守り、何を変えなければいけないのか、今一度考える良い機会ではないかと思えます。皆さんはどのようにお考えでしょうか。

## ◆ 幹事報告



柳井 渉 幹事

- 1)地区より2016年4月10日から15日で開催された規定審議会の決定概要報告が後藤地区代表議員から届いおり、開示要請がありましたので掲示板に開示してあります。6月15日に規定審議会報告会が開催されますので、質問等がある方は事前にガバナー事務所にメールで質問をお願いします。7月になればRIから正式に報告書が届き異議申し立て期間が提示されます。
- 2) 次週第12回理事会が開催されます。理事の方は出席をお願い致します。
- 3) 6月のロータリーレートは5月と同じで1ドル110円です。

## ◆ 出席報告

阿久津 馨 委員

出席報告	会員数	出席	M.U	出席率
5月31日	39(38)	30	2	84.21%
5月24日	39(36)	24	1	69.44%
5月17日	39(37)	31	1	83.78%

【欠席者】8名  
西 寛、中村 維孝、内山 修一、石崎 孝、杉崎 勝成、上田 博和、長田 英一、臼井 真一

【今回MU】1名  
石崎 孝 (5/29 国際大会)  
杉崎 勝成 (5/29 国際大会)

【前回MU】増加なし  
【前々回MU】増加なし

## ◆ 委員会報告

次年度 櫻井幹事

次週例会終了後に第3回準備理事会を行います。次年度理事の方は談話室に集合お願いします。また6/20には新旧理事役員会の引継会議を行います。対象者の方はお配りした書類にご記入の上、事務室へ提出してください。

ゴルフ同好会 須藤 公司 会員

6/5（日）箱根湯の花ゴルフ場でゴルフコンペを開催しました。



## ◆ Table flower

- デルフィニューム
  - ヒマワリ
  - コンシンネン
  - スプレーバラ
- 【花言葉】  
デルフィニューム：「あなたは幸福をふりまく」  
ヒマワリ：「崇拜」  
スプレーバラ：「感謝」



## ◆ 卓話

「NPO法人アール・ド・ヴィーヴル活動紹介」



小田原市教育委員  
NPO法人アール・ド・ヴィーヴル理事長  
日本ダウン症協会小田原支部長  
萩原 美由紀 様

こちらへお伺いするのは4年ぶり、今回は「ひよこの会」の活動などのお話しをさせていただきました。今回はNPO法人アール・ド・ヴィーヴルの活動紹介をさせていただきます。障がい者アートによるソーシャル・インクルージョン、障がい者の社会参加をどうするか？どんなことができるのか？を考えながら活動しています。色々な障がいがあって「ダウン症の人はこうだ」「自閉症の人はこうだ」とはまず言えません。個性があり面白いことが起こり、それを社会と繋げていくと、もっと面白いことが起こると感じてきたところです。平成25年夏にNPO法人アール・ド・ヴィーヴルを設立しました。障がいのある人がやりたいことをやれる、個性を伸ばせる、ワークショップという形で体験できる場所を作りました。料理、アートワークショップ、大きな絵を描くワークショップ、織りなどがあります。「アール・ド・ヴィーヴル」という言葉は「自分らしく生きること」という意味で、アートワークショップを中心に、親子でのヨガ、さをり織り、料理、陶芸、英会話などに挑戦しています。また美術鑑賞旅行は、周囲の迷惑を考えて美術館へ行かない方たちのために、学芸員の方々にも理解していただいています。フラダンスは障がいのある方たちが、ハワイの言葉を覚え手話を覚え、それで踊りました。これは感動的で出演依頼が東京からも来ています。社会への発信としては、アートワークショップで生み出された作品で展覧会を行っています。去年の夏には清閑亭をアート作品で埋め尽くすイベントがありました。蔵の中も全て彼らの作品で埋めて、とても反響がありましたので今年も行う予定になっています。障がい者のアートに触れる機会のない方たちへの発表会としてアート・シンポジウムも開催しました。私たちのアーティスト・中津川浩章氏や小田原市長も参加してくださり、アートについて語りあいました。映画上映会は最近「みんなの学校」を上映しました。大阪にある大空小学校という公立小学校が不登校児ゼロの実績を持っており、その取り組みをドキュメント映画にしたものです。この映画は色々な場所で上映されているおススメの作品です。

これからの事業について。事業化することで社会とどう繋がるか？私たちは色々なグッズを販売しています。以前城北RCでも販売協力していただきました。そのグッズが色々なところに行って「どんな人たちが作ってるの？」という疑問が生まれ、そこからアール・ド・ヴィーヴルに繋がる、そういうツールであって欲しいと思えます。デザイン依頼を受けることもあります。子供たちが作った可愛いものやオリジナリティ溢れるものが沢山あります。ギャラリー新九郎では毎年展覧会をやり、23名の作者で会場一杯に飾りました。6日間で800人の来場者があり、興味を持ってくださる方が増えてきたのを感じます。マスコミの取材も多くなり、伝えたいことを伝えられる機会も多くなりました。作者は自分が認められている喜びを感じています。4月に『障がい者の方が毎日通える事業所を作ろう』という念願の企画が立ち上がりました。

毎日心地よく通っていただくには色々な制約があり、物件を捜すのに2年かかりました。修繕も積み重ねて久野のJT跡地近くによくやく完成しました。毎日4名ほど、小田原だけでなく秦野、大磯、湯河原などから通っています。自分ができることを増やして社会と繋がるために、送迎などは行っていません。アート活動を仕事にするため、できあがった作品に対する著作権はアールで管理し、デザインに使われた時の収益を障がい者ご本人にお支払する形を取っています。毎日絵を描いたり創作できる場所が今まで小田原にはありませんでした。できて良かったと言っていますが、まだまだ知られていません。定員20名まで受けられますので、是非皆様からもお伝えしていただくと有り難いです。普段利用者がどんなことをしているのか動画をご覧ください。日当たりの良い場所にあり、毎日絵を描くだけでなく名刺を作ったり様々な制作に取り組んでいます。ストライプの作品・色鮮やかな作品が特徴の方、フラダンスが得意な方、皆が違う色を出してくれて、私たちもドキドキする感覚で日々を過ごしています。利用者は18歳以上で小田原養護学校の卒業生が多く、今までずっと外に出なかった40代の方も精神を患っている方も来て来てくれています。色々な人たちが混じりあって活動することで生まれてくるものが楽しみです。名刺を作っているのは配達や営業をやりたいという方がいたからです。市役所などに納品に行き「ありがとう」とお金を受け取るやりとりが充実感を生んでくれるようです。

もう一つ、作品のリースをする事業があります。月額5千円で色々な場所へ3か月間自由にお使いいただけて毎月入れ替えをしていく形式です。これは企業や病院、公共施設、銀行など、沢山の人の見ていただける場所へ置いてもらいたいと営業を頑張っています。ダイナシティ西武のリフォーム工事で白い壁になっているところにも現在展示中です。50点くらい飾ってありますので是非ご覧になってみてください。原画の持っている力を感じていただけたらと思います。今までこういう活動が地域にありませんでしたので理解していただくことは大変ですが、伝え続けていきたいと願っています。事業所では毎日色々なことが起こり、利用者さんとトラブルになってしまうこともあります。本人の言葉が足りなかったり、私たちの言葉で傷つけてしまう不安もありながら対応しています。昨日も「死にたい」と言われるようなトラブルがあり、事業所は命を預かっている場所なんだと改めて感じました。世の中で働く楽しさを知って欲しい、自分らしく生きることを肯定したいと願っています。できれば皆さんが生活していけるお給料を差上げたいので、作品リースなど興味がありましたらご連絡ください。最後に。これは3年前の映像です。机も何もない一部屋から始まった活動です。この頃はボランティアも少なくなくてお母様たちが他のお子さんのサポートに入る形で進めていきました。構図は一切教えず、色を選ぶことも全て自分で決めます。教えると同じものを作ってしまうので、力を引き出すには言葉かけだけにするのが一番だそうです。制約がないのは自由に心地良いことなのです。

